

<作成例>

「施工性の向上」部門

| | | |
|----|--------|--|
| 部門 | 施工性の向上 | |
|----|--------|--|

～仮設の工夫で工程を短縮～

〇〇工事 その〇〇

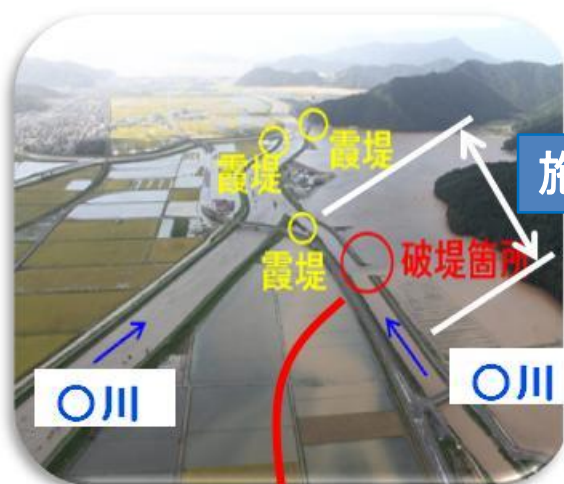
一級河川〇〇川

〇〇町

〇〇係

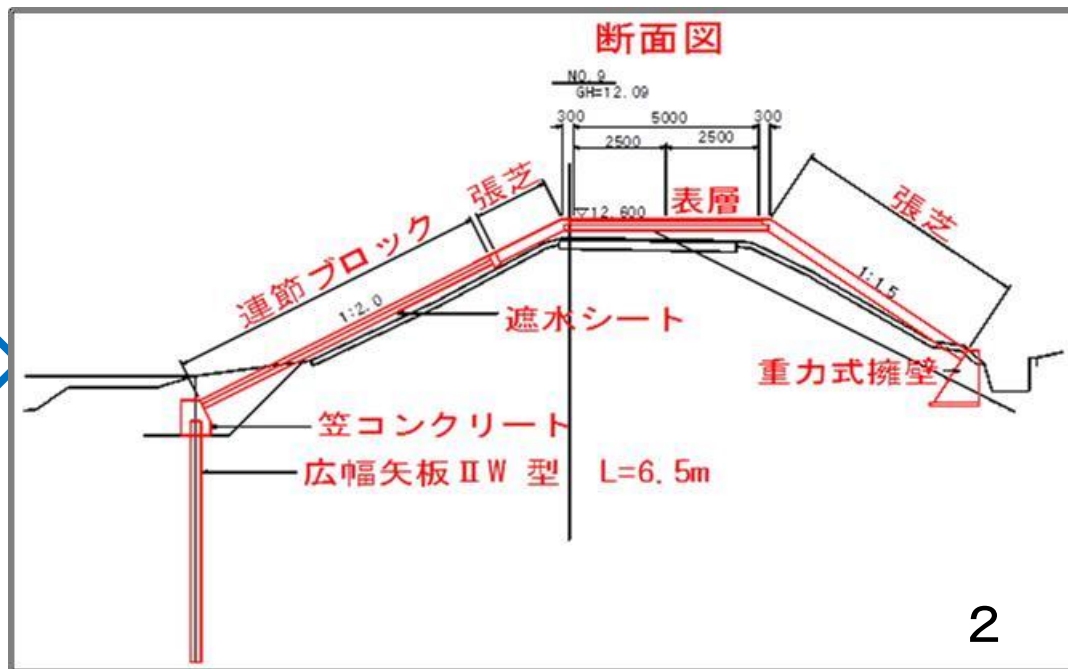
工事概要

〇〇年〇月〇日の台風〇号により、越水した区間(破堤区間 m を含む)の右岸 m の堤防嵩上げおよび護岸工の新設を行う



復旧延長: m
 築堤工: m^3
 連節ブロック張: m
 矢板工: 枚

復旧断面図



着工前



完成



施工性 向上

ポイント

- 災害復旧工事で早期復旧が必要
- 進入路は一本しかない

③ 堤防幅が5mと狭く、車両のすれ違いが困難

② 擁壁の施工で堤防を掘削することから、安全性確保が必要

① 河床が軟弱でバックホウがそのまま進入できない

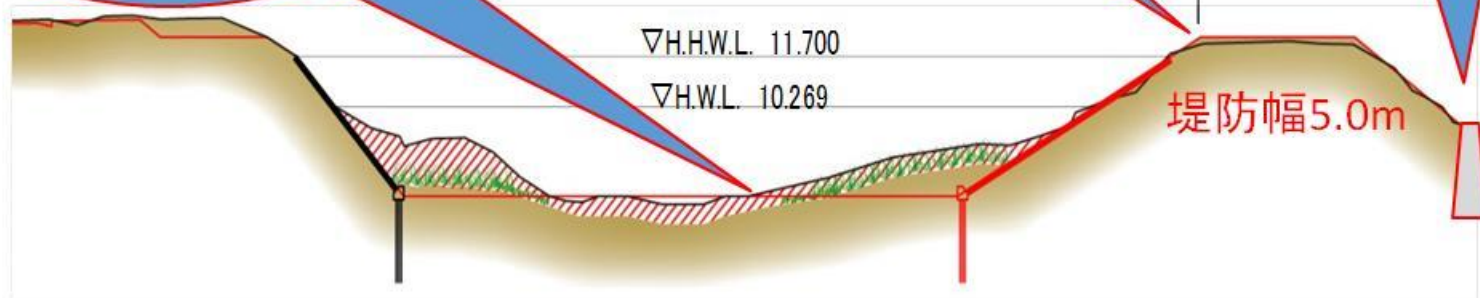
横断面図 0.6km

川幅 約32m

▽H.H.W.L. 11.700

▽H.W.L. 10.269

堤防幅5.0m



工夫 ① バックホウマットの使用

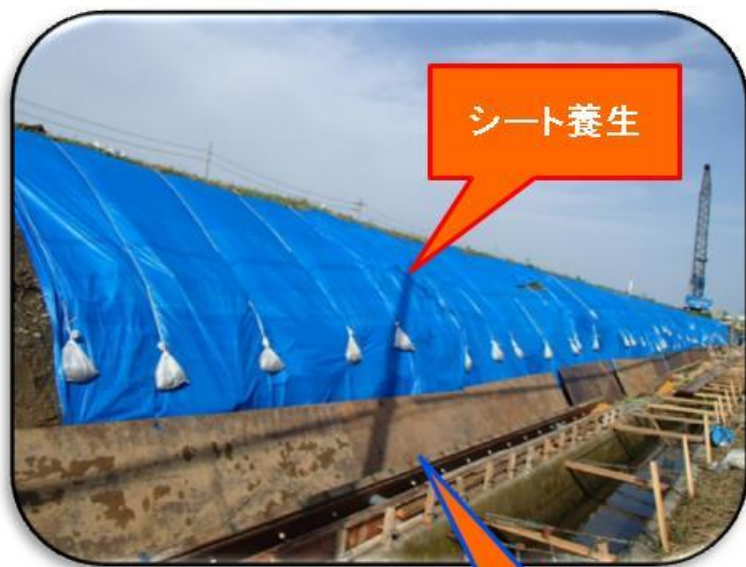


河川内は、地盤が悪く重機が入りにくいため、丸太を編み足場に使用することで、通常工程を6日間短縮



工夫 ② 鉄板・大型土のうによる法面足元の強化

道路側擁壁施工時、鉄板・大型土のうで法面足元を保護して堤防の安全性を高め、河川側の同時作業を可能に



シート養生

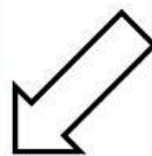
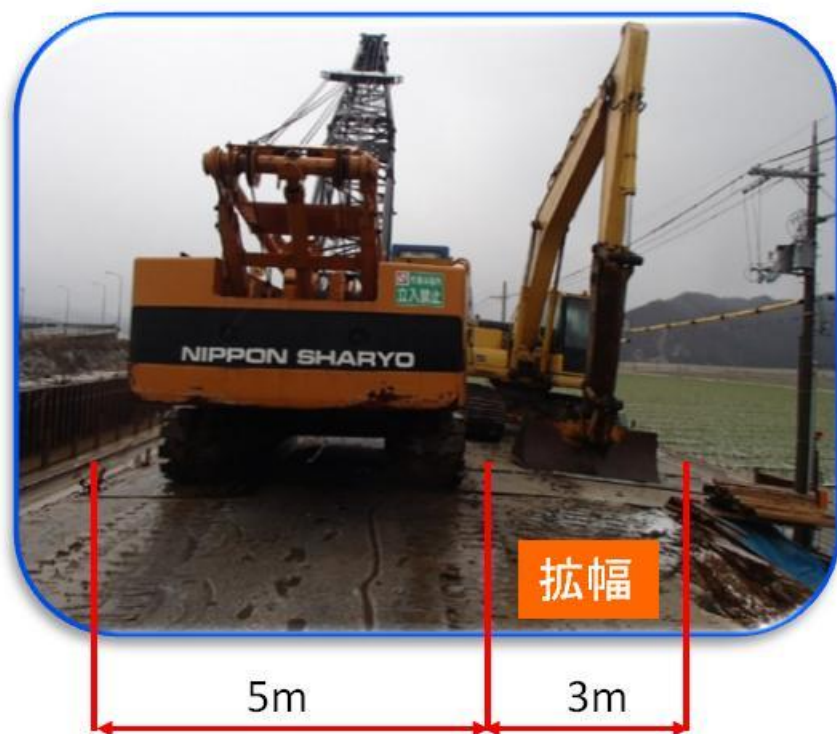
鉄板養生



大型土のうで補強

工夫 ③ 退避所の設置

重機のすれ違いができるように**退避所**を設置することにより、土工事や連節ブロック、矢板抜き**の同時施工**を可能に



社会貢献

一般の方40名
に現場見学会
を実施

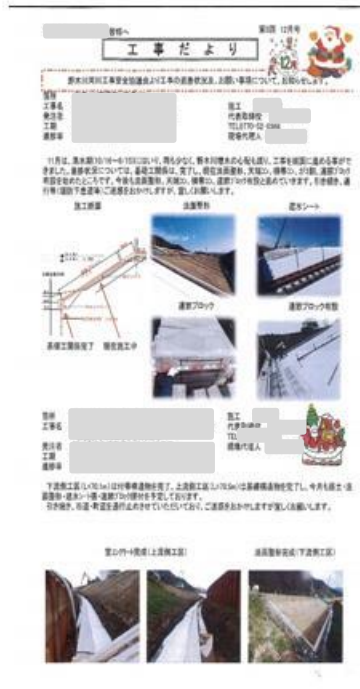
工事の説明
をしています



重機の説明
をしています



工事チラシを
配布
(8月~3月)



〇〇地区の導水路補修
作業を区民と一緒にやる



〇〇地区内の水路清掃
作業に参加



環境への配慮

河床部堀削時にドブ貝の生息の確認を行う



河床部を施工時の濁水防止として、シルトフェンスを設置



スライド枚数 9枚

879KB